

北島町議会だより

- 2. 3 新議員13名の思い
- 4~11 一般質問
- 12. 13 議会モニター懇談会
- 14. 15 町議選アンケート報告
- 16 下水道について

2023.9.1 No.34



「みなさまに届けたい。」



新議員13名の思い!!

町の施設を有効活用し、子どもたちの自習スペースを確保。子育て・教育から高齢者福祉に至るまで民間の力を積極的に活用し、官民が連携を強化することで町民のサービスの向上を図る。子どもから高齢者までが住み続けたいと思う町づくりを展開する。

- 子育て・教育環境が整う町づくり
- 活力ある町づくり
- 高齢者福祉を守る町づくり

まつだりょうへい
松田亮平
議員



少子高齢化により、高齢者の移動手段の確保。人口減少に伴い、町税収も減少するため自主財源の確保と持続可能な開発を継続し、将来安心して教育や子育てができる環境整備と移住定住者の増加を目指す。

- 教育環境・子育て支援の充実
- 高齢者・障がい者福祉支援強化
- 持続可能な開発目標の推進

あもうよしき
天羽慶喜
議員



妊娠期から産後まで、不安なく快適に過ごせる町づくり。災害時、誰一人取り残さない防災機能の整備、避難所の充実。北島町の農業・産業を全国・世界へ発信。

- 産前産後ケア事業
- 防災設備の充実
- 農業・産業振興

えびすや
だいすけ
夷谷大輔
議員



時代の転換点に迅速な対応をし、ふるさと納税返礼品の拡充、公共施設・公共サービスに適切な投資をし、高齢化社会において全ての人が暮らしやすい環境を整える。

- 持続可能な環境整備
- 防災意識の向上
- 子育て環境の充実

かじてつや
梶哲也
議員



妊娠期から出産・子育てまで切れ目ない支援、相談窓口の周知徹底で孤立しない子育て環境の構築、産後ケア事業の推進。女性目線を活かした防災・減災対策を推進、災害時の備えとして自助・共助の呼びかけとマイタイムラインの周知継続。認知症対策・予防の充実、高齢者個別避難行動計画の推進、ぐるぐる福祉バスの改善と利用促進。

- 子育て支援
- 災害に強い町づくり
- 高齢者に優しい町づくり

ささきのりこ
佐々木紀子
議員



誰一人取り残さない優しい政策を基本理念に、国や県・他自治体議員と繋がり最善の方策を模索する。一つでも多くの笑顔が作れるよう、幅広い分野で勉強を重ねながら皆様とともにつくる町政を目指す。

- 多様化に対応できる子育て支援
- 耳を傾け想いを組んだ政策提案
- 自分らしく生き生きと暮らせる町づくり

なかのまゆみ
中野真由美
議員





ばんどう やすみ
板東 泰史
議員

- 平時と有事のインフラ整備
- 町全体の均衡な発展
- 令和のあるべき北島町

令和8年度から共同浄水場が供用を開始する。また、給食センターの建替も進む。発展する北島町だが、場所によっては格差が広がっていると思う。令和の社会的コンセンサスと技術的な進歩に基づいた発展を考えるべき。



はざが とし
坂 登志馬
議員

- 次世代育成支援
- 元気のある地方創り
- 北島町、独自の自治の姿

町民皆様に平等であり決して、一人で頑張らなくていい、すぐそばに行政の姿がある北島町であるよう必ず努力をする。



はいだ きくぞう
灰田 菊蔵
議員

- 安心、安全な町づくり
- 社会基盤整備
- 子育て支援

防災行政無線デジタル化による円滑な情報伝達、排水機場等ポンプ場の改良整備による内水対策。鳴門市との共同浄水場整備事業の推進。認可保育園の誘致整備による待機児童の緩和。企業誘致の促進。



たけやま みつ
山 光憲
議員

- 全事業に対する、一般質問による将来への政策提言
- 将来に対する住民の新たな交通手段の構築
- 顔の見える議員活動の推進

議員活動とは、持続可能な財政運営に向け、また住民満足度の向上を目標に、全国の先進事例を検証し、町行政に反映しコンパクトな町づくりを推進していかなくてはならない。



みやもと ひろゆき
宮本 敬行
議員

- 子どもたちの健康育成
- 安心・安全の町づくり
- 支えあう福祉サービス

大人・子ども、分け隔てなく、一人ひとりに寄り添い、手を差し伸べられる町、今はもちろん将来も安心して生活ができ、自分らしく生きていける町、そんな町づくりを目指す。



きたしま あきゆき
北島 昭文
議員

- 地域経済の活性化
- ごみ処理施設は町単独で整備する
- 子育て支援や防災対策の充実

地方財政が大変厳しい状況にあり、地域のことは地域で対応すべく、その責任を負う地方議会の果たす役割は極めて大きく、かつ重要となっている。近年、権限・ヒト・仕事・情報・カネなどが中央に集中する一方で、多くの町村は高齢化・人口減少が進み、地域間の格差はますます拡大している。できる限り尽力したい。



ますたに さたゆき
増谷 禎通
議員

- 河川敷を活用して水と緑あふれる公園のある町づくり
- 子どもや高齢者の笑顔あふれる町づくり
- ぐるぐるバスの路線拡大とニーズに応える町づくり

北島町は公園面積が、国・県基準の1/2しかない。工場や住宅建設で益々緑が失われている。河川敷や堤防を活用して、公園や道路の整備を進めるために努力する。また高齢者や子どもたちが住みやすい環境づくり、子ども食堂の充実、ぐるぐるバスの路線拡大に取組みたい。



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

これからの時代に 対応した支援を

児童館について①

——時代が進むにつれ、学童・児童館の需要が高まる一方で、地方部は未だにパート中心や保護者運営である。支援員不足の今、真つ当な対価を支払うことが支援員増加に繋がる。利用料金の平均は月四〜六千円。本町は年額二万四千円で月平均は二千円になる。利用料金を少し上げるか、町財政から支援員をサポートしてはどうか。

森本社会福祉課長

現在の報酬について委託事業先の社会福祉協議会と協議し、保護者の負担が過大にならない値上げや、一般財源の拡大などを協議していく。

児童館について②

——児童館の利用者は、北児童館が一二六名(定員二二〇名)中央児童館

が一五〇名(定員二二〇名)南児童館が一五〇名(定員二二〇名)となっている。待機児童が一名いるが、希望する児童館へのキャンセル待ち状態である。定員の超過は、重く受け止め、新たな預かり場所を作るべきだと考える。

森本社会福祉課長

申込希望者数の超過が、常態化している児童館もあるので、補助的に近隣公共施設を一定期間使用できるように検討・協議している。

保育士への支援

——保育士は国家資格を必要とする専門職であり、その重要性が改めて見直され、平成二五年度以降、一人当たり約一四%の給与改善が行われているが、まだまだ対価に見合う給料には、ほど遠い。本町は保育士への待遇が手厚い

となれば雇用の増加にも繋がらないか。

朝野子育て支援課長

今後国において支援の拡大や保育士の増員などが計画される一方で、市町村の義務的負担の増加も想定される。国の動向を注視し可能な改善策を検討していく。



その他の質問

- 保育所利用申し込み案内について
- 多子世帯への支援
- 電気料金値上げについて

えびす や だい すけ
夷谷 大輔 議員



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

公立学校における 部活動の地域移行を考える



中学校の部活動、地域移行を 推進していくうえで②

—— 全生徒数が県下二番目に多い中学校であることを鑑みて、今後の地域移行をどう推進するのか。

栗田教育委員会事務局長

関係機関と協議し、地域人材の確保や費用負担など多岐の課題について整理検討していく。

的に検討すべきであると考えます。

運転免許証を自主返納しやすい 環境整備へ②

—— 自主返納事業として交通代替手段の確保と路線バスの利用促進のため、運賃割引等を検討してはどうか。

藤高総務課長

県HPにより「とくしま運転免許自主返納者優遇店ガイドブック」にバス・タクシーの割引制度や様々なサービスが掲載されており、本町の地域の特性により適応した施策等を慎重に検討したい。

中学校の部活動、地域移行を 推進していくうえで①

—— 現在の北島中学校の部活動の現状はどうか。

栗田教育委員会事務局長

運動部が一三、文化部が五あり、どの部も活発に活動している。

運転免許証を自主返納しやすい 環境整備へ①

—— 返納するきっかけ作りとして、タクシーチケット配付など、毎年予算計上できないか。

藤高総務課長

ぐるぐる福祉バス等が無料で利用できることから、住民サービスの向上と財政規律の双方に留意しながら、総合



さ さ き のり こ
佐々木 紀子 議員

その他の質問

- 無園児への支援について
- プレコンセプションケアの啓発・推進について
- 北島町の将来人口目標と空き家対策について
- 西高房の防波堤とひょうたん夏まつりを成功させるための安全面について



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

幼稚園預かり保育、 質の向上に向けて

幼稚園について

——町立幼稚園の預かり保育時のテレビの時間が幼稚園利用率の低迷の一因との声も聞かれる。

子ども子育て支援法施行規則に小学校就学前子どもに対し、漫然とテレビやビデオを見せ続ける等子どもへの関わりが少ない放任的な保育内容でないことが明確にあげられている。テレビを見せない保育を考えていただきたい。

栗田教育委員会事務局長

平日は一五時のおやつ後三〇分程度と外遊び後の一七時半以降テレビの視聴をしている。幼稚園教育要領では、教育時間の終了後等に行う教育活動について、心身の負担が少なく無理のない一日の流れをつくり出すことが重要であるとされている。今後もクールダウンの時間として上手く取り入れると

ともに幼稚園教育について更に充実を図っていく。

不適切保育について

——令和五年五月にこども家庭庁が保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドラインを策定した。

防止の観点から園児・保育士双方を守る手段として防犯カメラ設置の補助金を提案する。

朝野子育て支援課長

監視カメラを死角がないよう設置するには非常に高価であるとの情報もあり、町単独補助での対応は、町負担も大きいため今後の国や県の動向を見ながら対応したい。

——また、通報時・発見時の対処方法

や不適切保育が起こらないよう、どのように取組んで行くのか。

朝野子育て支援課長

不適切保育対応への取組みは、相談窓口等の周知を保育施設から保護者へ行っていただいた。

各保育施設に保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドラインを送付。日頃から保育施設と町・県が密に連携し、よりよい保育ができるように取組んでいく。



なかのまゆみ
中野 真由美 議員

その他の質問

- 老人憩の家について
- 児童館について



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

ごみ処理施設広域整備が白紙 どうする北島町



藤田清掃センター所長

老朽化が進んでいる現存施設の延命措置を行いながら、できる限り長く稼働していき、早急に本町にとってよりよいごみ処理方法について調査・研究していきたい。検討委員会の設置についても検討していく。

豪雨浸水被害に備えを。

企業進出、宅地開発が急伸

——都市化が進む半面、開発行為や建築行為等に伴い、遊水及び貯留機能を失った土地からは雨水が直ちに地先の排水溝に流出され、過度な負担により浸水被害を発生させるおそれがある。適切な雨水流出抑制対策の検討を求める。

片岡建設課長

近年、宅地分譲や企業誘致等による

農地の減少で雨水の貯留地が減少傾向にある。内水氾濫を防止するためには、

既存の排水機場や排水路の能力向上に加えて、雨水流出抑制対策として雨水の貯留・浸透施設の設置は必要不可欠である。先進事例等を十分に検討し、今後の雨水対策に取り組みたい。



みやもと ひろ ゆき
宮本 敬行 議員

その他の質問

- 統一地方選、市町村議選の投票率について
- 子育て支援について



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

社会インフラの 未来戦略と その課題を検討する

片岡建設課長

管理方法やコスト等を他の自治体と
比較・検討していく。

置についての先進事例等を調査研究し
ていく。

公園について②

町独自の施策で公園を統廃合でき
ないか。

西高房地区における内水対策 について

片岡建設課長
これまで統廃合を行った前例がない
ため調査研究していく。

片岡建設課長
未だに常設的な対策がとられてい
ない内水対策について、広域の水道事
業により、一部の解体が決まっている
現水道施設の一部にポンプを常設し運
用してはどうか。

公園について①

本町には都市公園が二三カ所、緑
地公園が四七カ所あるが、管理が行き
届いている公園が少ない。他の自治体
と比べて公園管理コストは適正か。ど
のようなプランを持ち、公園のあり方
や、公園管理を目指しているのか。

公園について③

都市計画法施行令第二十五条第一項
第六号により未来を見据えた開発は可
能か。

片岡建設課長

公園の効率的な維持管理を行うこと
ができるよう、開発時における公園設

片岡建設課長

大きな課題であった用地取得の必要
がなくなることで、費用面・時間面
において大きなメリットがあると考
えられるため、関係機関と協議を進
めていく。

その他の質問

- 地域おこし協力隊について
- 図書館のあり方について

かじ 梶 議員
つ や 哲也



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

投票率低迷。 もつと選挙に興味を！

選挙における広報活動について

—— 本年、四年に一度の統一地方選挙が実施された。現在、町が取組んでいる広報活動では不十分と考える。有権者にもっと周知できるように、民間施設も含めた広報活動を増やしてほしい。

藤田住民課長

町民の方々に選挙に関して、疑問なくよりの確に知っていただくために、広報活動の見直しをしていく必要があると考えている。まずは目にしていただく機会が増えるよう公共施設に案内等を掲示しわかりやすい選挙の広報活動ができるよう努める。

子どもたちに 自習学習の機会を！

子どもたちの学習スペースについて

—— 現在、町が管理している施設において、子どもたちが自由に学習できるスペースがほとんどない。町立図書館の二階ギャラリーを使用していない時に自習スペースとして開放してはどうか。

亀井図書館・創世ホール館長

施設を自習・学習等に活用するには様々な対策が必要となる。二階ギャラリーも含め自習・学習に適しているか検証し、施設の利用方法について検討する。



まつ だ りょう へい
松田 亮平 議員



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

水道水の PFAS汚染について、 北島町の検査体制は

水道水のPFAS汚染への対応について①

——世界各地でPFASと呼ばれる有機フッ素化合物による水道水の汚染と健康被害の報告が上がっている。肝臓障害による脂質異常症、抗体反応の低下(ワクチンの効果減少)、腎臓がん、乳児胎児の成長・発達への影響があるとされている。現在、本町浄水場ではPFAS濃度の検査は実施しているのか。

上野水道課長

令和二年度より毎年、原水と浄水のPFAS濃度の検査を年一回、実施している。検査結果は原水、浄水とも暫定目標値を大きく下回っており、安全性を確認している。

水道水のPFAS汚染への対応について②

——鳴門市との共同浄水場において、

検査について協議しているか。

上野水道課長

共同浄水場が供用開始した後の検査体制については、今後、市町間で協議を進めていく。

学校の施設・設備の事故防止について①

——六年前の福岡県での小学校で発生した死亡事故から、消費者事故調による調査の結果、文部科学省に対して教職員による各学期の施設・整備の事前点検が形骸化していたと指摘された。これに基づき公立の小中学校の緊急点検と抜本的な点検の変更が行われている。本町における近年の事故発生状況はどうか。

栗田教育委員会事務局長

令和二〜四年度の三年間で、ドアで指を挟む事故が二件、ベンチに衝突する事故が一件、合計三件の事故があった。

学校の施設・設備の事故防止について②

——点検項目を具体的に見直すべきとの報告を受けて見直した点はあるか。

栗田教育委員会事務局長

安全点検表の点検項目の確認を行ったところ、今のところ直ちに見直しの必要はないと判断したが、点検の回数を増やす等の対応をとっていく。

学校の施設・設備の事故防止について③

——教職員の負担軽減のため、外部人材として「労働安全コンサルタント」の支援を検討してはどうか。

栗田教育委員会事務局長

外部人材の活用を含め今後の安全点検、再発防止の取組については、国の示す要領を参考に進めていく。

その他の質問

●選挙公営と書類の事前審査期日について

ばん どう やす ふみ
板東 泰史 議員



北島町HP(町議会)の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

認可保育園事故 園長会を招集し安全対策を！

昨年二月五日、町内の認可保育園において、0歳児の男児が積み木を飲み込んで、意識不明となる重大事故が発生した。私は、ご家族から相談を受け、保育所の安全対策や町の支援や補償問題について質問した。

保育事故問題について

令和五年二月二〇日の臨時会まで、事故の報告が遅れたのはなぜか。議会軽視だ。保護者への対応が事務的で、保育園任せである。

朝野子育て支援課長

議会への報告が遅れましたことにお詫びを申し上げます。町として真摯に向き合い、再発防止に取組んでいく。

—— 事故検証委員会の名簿と肩書きを公表されたい。

朝野子育て支援課長

法律分野、弁護士吉成務様、医師分野、北島こどもクリニック院長富永ユリ様、保育に関する専門分野、三名、鳴門教育大学大学院学校教育研究科幼児教育コース教授湯地宏樹様(委員長)、徳島県保育事業連合会会長(社会福祉法人和田島福祉会花しんばり子ども園園長)大和忠広様、徳島県東部保健福祉局徳島保健所次長(健

康危機管理担当)浦西由美様である。

—— 事故発生から現在までの経過報告を求めたい。

朝野子育て支援課長

令和四年二月五日、町内にある認可保育施設で事故が発生し、県に報告、保護者の意向や個人情報に配慮し、町内各認可保育施設へ「安全対策の徹底」の文書を送付。公表内容も保護者の同意を得て、報道機関へ公表し、徳島新聞に掲載された。

二月八日、保育施設が保護者説明会を開催した。

令和五年二月二〇日、議会に事故検証委員会設置条例の提案を行い、三月二三日、第一回保育施設等事故検証委員会を開催。五月二八日、第二回保育施設等事故検証委員会を開催した。

—— 保護者への補償問題と今後の事故対策は。

朝野子育て支援課長

県・町・保育施設で密に連携を取り対応する。園長会を開き意見交換等を行い、再発防止と安全対策の徹底に取組んでいく。

道路及び河川問題

鳴門市や国土交通省と協議を！
道路及び河川(国交省)問題について

—— 太郎八須工業団地交差点改良と鯛浜河川敷力ラス対策など

片岡建設課長

ご指摘の箇所は、県道と町道の交差点部で鋭角となっており、大型車両によるガードパイプ等の破損が見られるほか、路面の破損も頻繁に起こっている。関係機関と協議を進めていく。

ご指摘を受け、国土交通省へ河川敷の樹木の剪定を依頼し、現場確認をした。



議員 通 禎 谷 増
ゆき さい たに ます

その他の質問

- 観光行政問題について
- 北島町商工会の対応問題について
- サンライフ運営県補助問題について
- ぐるぐる福祉バス問題について

一 夕 二 七 会 議

懇 談 会



産業建設常任委員会

まちづくり

(モニター3名・議員2名)



命を守る上水道について、建設中の鳴門市との共同浄水場がいつからの運営かなど、水道事業について節水方法や災害時の対応など様々なご意見をいただきました。その中で、水道事業の予算が大きいのにあまり議員から質問が出ていないのご指摘も承りました。



その後、まちづくりについては、広域下水道や、工事後の道路復旧・危ない交差点・押しボタン信号の設置などの質問が次々と飛び交い、警察や県・国と連携しながら解決していく問題もあり、即答はできませんでしたが、今

文教厚生常任委員会

子育て・教育

(モニター2名・議員3名)



1) とくしま在宅育児応援クーポン事業が廃止となるが、今後、町独自の支援はありますか？
A) 今後は国の事業である出産・子育て応援給付金に移行されます。

2) 幼稚園が2年保育制となり園児数が増加しているが教諭の人数に問題はないですか？
A) 令和5年度より教諭の人数を増やして対応しています。

3) GIGAスクール構想によりタブレットを使用し、自宅に持ち帰って勉強ができるが当初は説明を受けたが子どもが持ち帰ってこない。現状はどうなっていますか？
A) タブレット端末メーカーの不手際のため、現状で使用できるように対応中です。

4) 町内企業の魅力を小中学校へ発信し地元就労者の増加に繋げるために、要所学年(小学6年・中学3年等)での見学や、家族・友達単位での見学ができるようになりませんか？
また中学校への企業による出前授業ができませんか？

A) 少人数の見学については、企業側も負担となるため、現状難しいと考える。

総務常任委員会

防災

(モニター3名・議員4名)



総務常任委員会では防災について意見交換を行いました。
はじめに、モニター3名に「防災について」というテーマで、自由に意見を出していただき、それぞれの内容について全員でディスカッションを行いました。



例えばマンホールに関して「河川の氾濫時に外れてしまう恐れがあるが、町として対策しているか」また一方で「避難時にマンホールトイレが使用できるが、その使用方法を皆知っているか」など、身近にできる対策からインフラ整備などの大きな対策まで、

令和5年6月29日、北島町役場3階にて議会モニター及び議会広報モニター8名の皆さまと議員で懇談会を行いました。

議員は3つある常任委員会ごとに分かれ、産業建設常任委員会は（まちづくり）、文教厚生常任委員会は（子育て・教育）、総務常任委員会は（防災）、とそれぞれテーマを決めて話し合いました。

後の課題として気になった事案を頂戴いたしました。質問内容は左記に掲載しております。

最後に懇談会の開催を喜んでいただき、意見や要望を伝えられる場所が、もっとあっても良いのでは、との意見もいただきました。

今後とも、皆さまのご意見やご提案を預かれる場を積極的に設け、より良い町づくりに生かせるよう努めてまいります。



- 浄水場が新しくできるのは、御存じか。
- 共同浄水場は、いつから供用開始予定か。
- 水道事業会計について、議員からの質問が少ない。
- 工事後の、道路の路面復旧が遅い。
- 危ない交差点がたくさんある。

文責：中野真由美

また、いくつかの企業からは、出前授業をしていただけるとの回答もあります。

5) 中学生との一般会議に参加されている生徒はどのように決められていますか？また、生徒会メンバー以外も参加したいと考える生徒はいませんか？

A) 生徒会メンバーが参加していると伺っている。他の生徒の参加も含め、学校側に提案してみます。

6) ステップきたじまっ子について、現在の利用者数や給食はどうなっていますか？またGIGAスクール構想でのタブレットが活用できる環境（無線LAN）は施設内にありますか？

A) 登録者18名。常時利用者4名で、給食は各学校で食べるようになっていきます。また、無線LAN環境は施設内にもあります。

以上の質問を受け、議会としても深く勉強させていただきました。その他、企業と町民をつなぐ新しい構想などお聞きし、町としてできることを議会からも提案していきたいと考えました。大変貴重なご意見を伺うことができ、充実した懇談会となりました。今後、話し合いの場を設け、様々な提案をお聞かせいただければと思います。



文責：天羽慶喜

様々なご意見が出され、防災・減災について、改めて幅広く考えさせられる結果となりました。

防災・減災対策は多岐にわたることから、どれだけ備えをしても足りないというものでしたが、共通していえることは、『防災に関する知識不足』が、参加者全員の総意の一つであったと考えます。

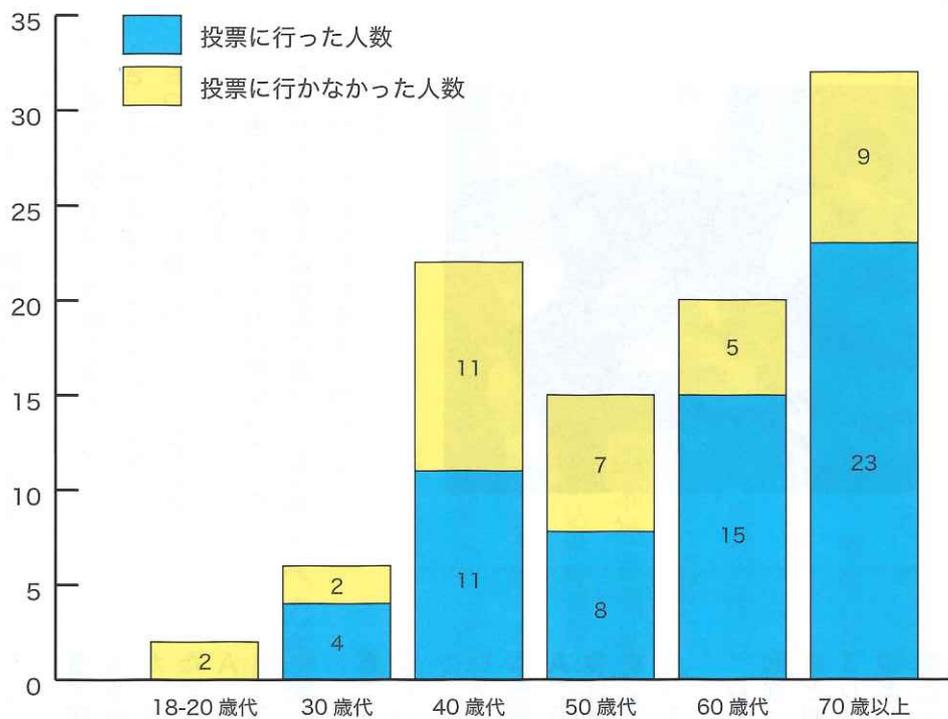
災害時には、行政・団体・学校・民間等それぞれが役割を担いますが、まずは今ある対策をしっかりと知り、理解しておくことが、今後の防災対策に生かされ、被害を最小限に抑えることにつながると考えます。

今後は、防災対策をより前進させ、産・官・学が、更なる連携を強化し、防災についての知識をより多くの皆さまに知っていただけるよう、啓発活動の在り方を考え、議会としても防災・減災に努めてまいります。



文責：松田亮平

55% (全国平均) 選挙興味がない



令和5年町議選挙 年代別投票アンケート結果

本年4月に実施された、北島町議会議員選挙の投票率は、全国平均より14%も低く過去最低となりました。そこで議会広報編集特別委員会は、その原因を調査するため、フジグラ\nン北島店、ザ・ビッグ北島店、ハローズ北島中央店、タイム北島店の許可を得て、3班に分かれて7月6日〜10日にかけてアンケートを実施しました。

町議選挙実態調査のためアンケート実施

投票所

投票に行こう!

Q1 あなたはどのようにしたら選挙しますか？

A1 ネット投票ができれば、する。(40代女性)

Q2 ショッピングセンターに投票所ができれば選挙に行きますか？

A2 できれば必然的に投票率が上がると思う。(40代男性)

Q3 交通手段があれば投票に行きますか？

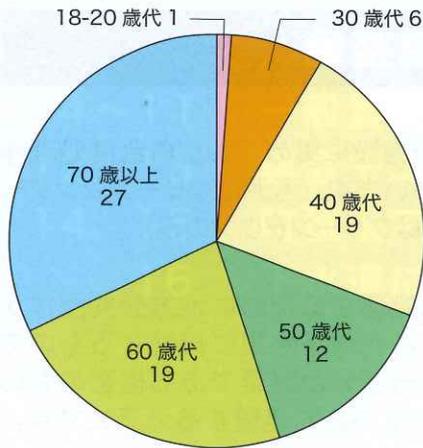
A3 投票所までバスがあれば行く。もっと良いバスを(70代女性)

A3 バスがあれば良いなあ！(70代男性)

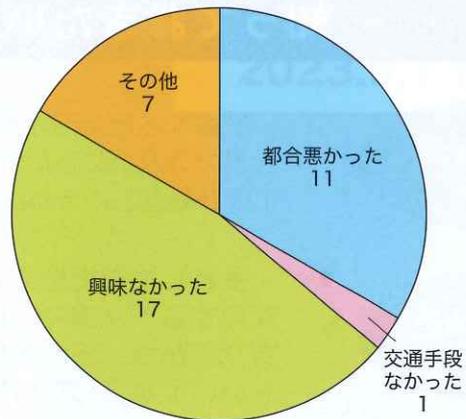


投票率41% (北島町)

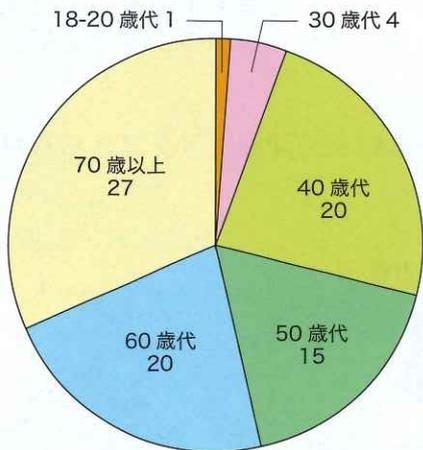
若い世代無関心・



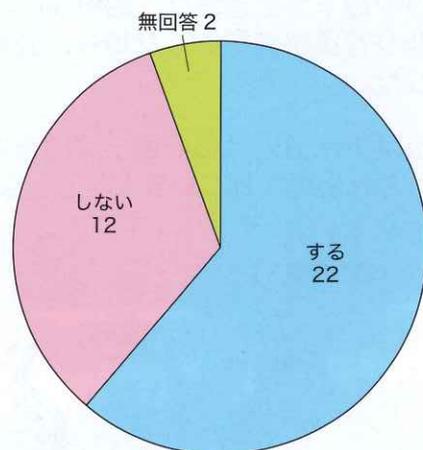
町議会選挙知っていた
(84名 / 97名)



選挙に行かなかった理由
(36名)



期日前投票知っていた
(87名 / 97名)



ショッピングセンターに投票所があれば投票するか
(36名)

2023年4月23日投票の町議選挙に対するアンケート調査集計表

年齢	アンケート数	投票について		選挙について		期日前投票について			選挙に行かなかった理由			
		投票に行った	投票に行かなかった	選挙知っていた	選挙知らなかった	期日前投票知っていた	期日前投票知らなかった	無回答	都合で	交通手段	興味なし	その他
20歳代	2名	0名	2名	1名	1名	1名	1名	0名	0名	0名	2名	0名
30歳代	6名	4名	2名	6名	0名	4名	2名	0名	1名	0名	1名	0名
40歳代	22名	11名	11名	19名	3名	20名	1名	1名	2名	0名	6名	3名
50歳代	15名	8名	7名	12名	3名	15名	0名	0名	3名	0名	2名	2名
60歳代	20名	15名	5名	19名	1名	20名	0名	0名	2名	0名	3名	0名
70歳以上	32名	23名	9名	27名	5名	27名	4名	1名	3名	1名	3名	2名
合計	97名	61名	36名	84名	13名	87名	8名	2名	11名	1名	17名	7名

教えて！ 北島町の下水道って、 どうなってるの？！



知っておきたい。北島町の下水道整備

地域下水道とは

家庭から出た汚水を道路に埋設した管渠で処理施設に集め、大型の合併処理浄化槽できれいにしたうえで、放流するというものをいいます。汚泥はクリーンセンターに運び処理し、うわ水は放流しています。（北島町はグリーンタウンのみ）

公共下水道とは

主として市街地における下水を排除し、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するもの又は流域下水道に接続するものであり、かつ、下水を排除するべき排水施設の相当部分が暗渠である構造のものをいいます。（「アクアきらら月見ヶ丘」の場合、汚水のみを処理する分流式です。）

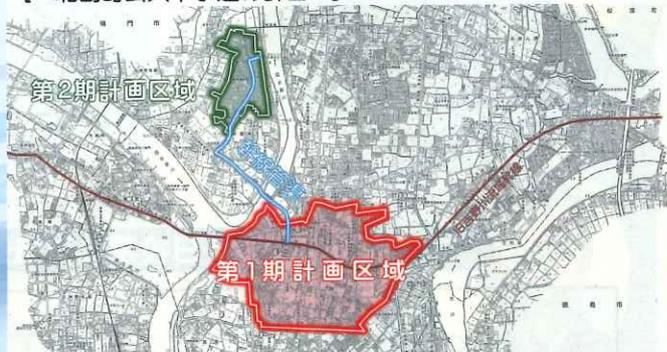
グリーンタウンの下水処理場は、昭和51年から稼働し、47年経過しています。地域下水道として処理施設建て替え及び管渠整備等をした場合、公共下水道より料金が上がるため、グリーンタウンを第2期計画区域としました。

図のように公共下水道とは板野郡・鳴門市の1市4町から、松茂町にある終末処理場「アクアきらら月見ヶ丘」に集められ処理されています。

【 旧吉野川流域下水道の概要 】



【 北島町公共下水道の計画 】



編集後記

選挙を終え、13人の新体制になりました。新たに編成された6人の広報委員会メンバーによる初めての発刊になります。今号から一般質問の掲載を町報から議会だよりに変更しております。今後議員の活動、考えを住民の方に分かりやすく伝えていけるように、研鑽を積んでまいります。

広報編集委員長 夷谷 大輔

議会広報編集特別委員会では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しております。

下記の募集要項により手紙、FAX、意見箱（北島町役場3階・議会事務局前）へお寄せください。

募集要項

- ・氏名 ・住所 ・連絡先
- ・本文400字以内



北島町お問合せフォーム

<https://www.town.kitajima.lg.jp/inquiry/>